

校長だより



【学校教育目標】

「自らの力をじゅうぶん發揮し、主体的に取り組む生活を今と将来にわたって実現する児童生徒の育成」

【みんなの合言葉】「『自分から 自分で せいいっぱい』願い実現 楽しい附特」

令和7年12月26日

No.9

附属特別支援学校

小松 賢吾

願い実現

2学期もありがとうございました

各部の生活のまとめとして行う修学旅行や、新しい取組として始まった「あすなろ音楽祭」、本校の大きな行事の1つでもある「十月授業」など、多くの行事や学習を重ね、本日2学期を終えることができました。行事の多かった2学期ですが、それぞれの場面で活動を心から楽しむ子どもたちの笑顔や、それを見ながら嬉しそうに見つめる先生方の姿に触れ、手前味噌ではありますが素敵な学校だと再確認することができた2学期でした。子どもたちの活動が充実し、それが子どもたちの将来の幸せに確実につながっていくよう、さらなる充実を目指していきます。

地域の皆さんには、行事に参加いただいたり、学習支援ボランティアで授業に入っていたり、たくさん関わって支えていただきました。保護者の皆さんには、お忙しい中PTA作業にもたくさんのご参加をいただきました。学校のために様々な場面でご協力いただき、本当にありがとうございました。

本校は3学期制ですが、学習は前期と後期で区切っているため、通知表のような学習成果物のない学期末は、少し不思議な感じもします。しかし、2学期末には個別懇談会や授業参観、PLUSの時間の学習参観など、保護者の皆さんには具体的に子どもたちの活動を見ていただいたり、担当からお話をさせていただいたりする機会をもたせていただきました。また、学校評価アンケートや、いじめ体罰アンケートなどへのご協力もいただき、ありがとうございました。温かいお言葉や、厳しいご指摘のお言葉もいただきました。懇談会やアンケートでいただいたご意見は、いただいて終わりにするのではなく、真摯に受け止めて今後の本校の学校運営に生かして参ります。このような機会だけでなく、いつでもお声を寄せていただき、よりよい子どもたちの教育の在り方を、保護者の皆さんや地域の皆さんと一緒に、今後も考えていきたいと思っています。ご協力、よろしくお願ひいたします。

令和8年度生徒会役員が決まりました

12月16日に、来年度に向けた生徒会役員選挙が行われました。本校は中学部と高等部の生徒で生徒会を組織しています。高等部2年生から2名が会長に立候補し、選挙戦が行われました。選挙に先立って行われた立会演説会では、「花と笑顔でいっぱいの学校にしたい」「絵と挨拶に彩られる学校にしたい」という2人の主張を聞き、投票の結果、新しい生徒会長が決まりました。併せて、高等部1年生と中学部2年生から各1名の副会長も決まりました。令和8年度に向け、今回決まった役員を中心にどんな活動が展開され、来年度の学校がどう変わっていくのか、とても楽しみです。選挙も学習の一環として行われるので、本物の投票箱や記載台を長野市選挙管理委員会からお借りし、緊張しながらの選挙体験もすることができました。



今年も様々な寄贈をしていただきました

12月5日に、朝那陽長寿会連合会様、南堀長寿会様から、今年もたくさんの雑巾を寄贈していただきました。調理実習の際や、教室での係活動としての机ふきに早速活用させていただいております。

12月12日には、「国際ノロブチミスト長野—みすず」の本年度の会長様を始め、3名が来校され、本年度も図書の寄贈をいただきました。令和7年度生徒会長と図書委員長が直接お受けすることができました。本校でも、図書館で本を読むのを楽しみにしている子どもたち、図書館の本の読み聞かせを楽しみにしている子どもたちがたくさんいます。昨年度も、大型絵本をたくさん購入していただいたので、教育実習でも活用させていただきました。保護者や地域の方だけでなく、多くの皆様に支えられていることを実感します。

ありがとうございます。図書館の活用、読書活動の一層充実を進めていきたいと思っています。



インクルーシブな学校運営モデル校として

昨年度より、文科省から指定を受けている「インクルーシブな学校運営モデル事業」の一環として、今まで長野小、長野中の交流学級を中心に本校児童生徒との交流学習を行ってきました。来年度からはその取り組みを一步進め、本校、長野小、長野中の全ての児童生徒がお互いに関わり合う機会をもつように計画しています。具体的には、本校の小学部、中学部の児童生徒が、長野小と長野中の同学年の学級に「交流学籍」を置き、本校の児童生徒が交流学級に呼ばれていったり、本校に来ていただいたりして交流します。先日行った、長野中の生徒会行事に本校や長野小が参加したように、3校合同での取組も模索しています。高等部の生徒は、3校合同行事に参加したり、高校生や大学生、地域の方との交流をしたりして、実社会での体験を充実させていきたいと思っています。なお、交流の形や頻度については、児童生徒一人一人の様子、本人の気持ちを大切にしながら、無理のない形で段階的に進めていきたいと思います。また、交流にあたっては、本校および交流先の教職員が連携し、児童生徒が安心して活動できるよう支援体制を整えていきます。今後の具体的な活動内容や進め方については、3校で検討をしているところではありますが、せっかく3校が隣接している地の利を生かし、附属長野3校がより連携して協働的な学びをつくりていきたいと考えています。ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。今まで行っていた、居住地校での「副学籍交流」とは趣旨の違う活動となります。この件につきまして、ご心配なことやご意見等ありましたら、連絡帳や担任を通して構いませんので、学校にお声を寄せていただけたらと思います。

お知らせとお願い

○冬休み中の生活について

- ・本日、冬休みの生活についてのプリントを配付しましたので、親子でご確認ください。
- ・緊急のときには、学校か本校公用携帯（回覧とHPでは番号掲載割愛）へご連絡をお願いいたします。

○本校以外のホームページやSNSでの情報公開先QRコードについて

- ・前号でお知らせした各ページのリンク先です。お時間のある時にご覧いただけたらと思います。

教育学部インクルーシブな学校運営モデル事業サイト

教育学部特別支援教育コースのインスタグラム

